

平成 26 年 9 月 2 日

報道機関各位

熊本大学

植物感染性線虫教育普及用ゲームを開発

内容等

文部科学省 科学研究費助成事業 新学術領域「植物細胞壁の情報処理システム（西谷和彦・東北大教授 代表）」では、工藤光子特任准教授（立教大）プロデュースのもと、全国の科学館・博物館などを巡回する展覧会、「植物細胞壁のミクロの世界展」を展開中です（東北大植物園（4/25-5/18）、北大総合博物館（6/24-8/31）、東大小石川植物園（9月中旬～11月中旬）、2015年は日本科学未来館、科学技術館などを予定）。そのコンテンツの一つが、班員・澤進一郎教授（熊本大学）の「ネコブセンチュウと植物のコミュニケーションの研究」です。展覧会において、パネル展示や模型展示だけでは情報発信の強度が低いいため、ゲーム化することでインタラクティブな機能をもたせ、より多くの人に楽しく学んでもらうことにしました(<https://www.plantcellwall.jp/nkb48/>)。

そこで、工藤光子特任准教授（立教大）及び、西谷和彦教授（東北大）と共同で、ネコブセンチュウの植物への感染課程に関する教育普及ゲームを開発しました。教育や普及には講演・ポスターなどの方法をとることが多いですが、今回は双方向性をもつインタラクティブなゲームを制作することによって、より楽しく学べるものを目指しました。(<https://www.plantcellwall.jp/nkb48/game.php>)



ゲームの舞台は、センチュウと植物が最初に出会う植物細胞壁。ストーリーは、ネコブセンチュウが最終的に植物細胞から栄養をもらい寄生する様子と、アイドルを目指すセンチュウ女子高生が芸能界で成功する様子とを重ね合わせました。ゲーム進行は6段階のステージをクイズに答えてクリアしていきます。

多くの人々が持っている素人アイドル成功の道のりへのイメージを利用して、線虫が植物に寄生する過程を例えることで親しみやすいコンテンツになりました。

本成果は、日本線虫学会第22会大会（つくば市；9月16-18日）にて発表予定です。

問い合わせ先；熊本大学大学院自然科学研究科・教授

澤 進一郎 (Tel; FAX, 096-342-3439, e-mail; sawa@sci.kumamoto-u.ac.jp)